

有工水だより

熊本県有明工業用水道

VOL.7

令和6年（2024年）1月発行
熊本県有明工業用水道

1. ごあいさつ

熊本県企業局代表よりごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

熊本県工業用水道のユーザー企業並びに関係者の皆様におかれましては、日頃から本工業用水道事業の運営にご支援、ご協力を賜るとともに、熊本県経済の発展にご貢献いただき、心より感謝申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスが第5類に指定され、経済活動も徐々に動き出しております。こうした中、熊本ではT S M Cの本年稼働に向け、急ピッチに準備が進められるなど、話題の主演となり、日本経済の回復の牽引役として全国から注目を浴びております。

さて、本工業用水道事業においては、「コンセッション方式」の導入から、3年目を迎えました。ウォーターサークルくまもと株式会社のもと、順調な運営管理がなされております。

全国的な課題でもあります施設の

老朽化問題ですが、本県の浄水場等の施設も老朽化が進行していることから、昨年度から今年度に向け、大規模な更新投資工事に取り組んでいるところであります。

また、老朽化対策の実施とともに、今後の経営を見据えたDX化についても力を入れております。デジタルツールを活用した浄水場データの見える化、データ分析など作業の効率化をはじめ、何より危機管理や災害に強い体質づくりを進めて参ります。

更新投資工事にあたっては、工業用水の供給に支障を来さないような計画を立案しているところですが、気象条件など場合によっては、断水、節水等をお願いすることもございますので、その折には、ご理解とご協力をお願いいたします。

今後もウォーターサークルくまもと株式会社と連携し、安心して安全な工業用水の供給に努めて参りますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。



熊本県企業局長
竹田 尚史

ウォーターサークルくまもと（株）代表よりごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

熊本県工業用水道のユーザー企業ならびに関係者の皆さまにおかれましては、新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和3年（2021年）4月1日よりコンセッション方式を導入した本事業におきましては、皆さまのご協力により、事業3年目もスムーズな運営を進めることができっておりますことを心より御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症がようやく落ち着きを見せ、5月に「5類」へと引き上げられました。未だ完全な終息とはなりません、コロナ禍以前の生活が少しずつ戻っていることを喜ばしく思います。一方、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は未だ解決の糸口が見えず、日本においても断続的な物価高騰が続いております。本事業においても電力費高騰などの影響を受けていましたが、経営努力に

より影響は緩和しつつあります。

さて、本事業におきましては、有明工業用水道・八代工業用水道ともに供用開始から40年以上が経過しており、弊社としましては、工業用水の安定供給のため、老朽化した施設・設備の更新工事を進めています。これまで半導体納入遅れによる工期遅延もありましたが、集中購買などにより、こちらも影響は緩和しつつあります。

今後も大規模な更新工事が続きますが、ユーザー企業の皆さまに満足していただけるよう、また、工業用水の供給に支障が出ることがないように努めて参ります。重ねて、長期間にわたる更新工事へのご理解・ご協力に、改めて感謝申し上げます。

今年も熊本県と協力し、工業用水の安定供給に向けて社員一丸となって取り組む所存です。

皆さまのご健勝と益々のご発展を心よりお祈り申し上げますとともに、今年もより一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



ウォーターサークル
くまもと（株）
代表取締役社長
松尾 晃政

2. BCP運用訓練を実施しました

初動対応及び円滑な情報共有方法等について確認しました

大規模発災時においても、最低限継続すべき業務を実施する体制を確保するため、ウォーターサークルくまもと（株）では事業継続計画（BCP）を定めています。この事業継続計画（BCP）に基づき、年1回のBCP運用訓練と年4回のBCPワークショップを実施しています。

2023年度は11月16日に訓練を実施しました。ウォーターサークルくまもと（株）・構成企業等のメタウォーター（株）・（株）熊本県弘済会・（株）NTTマーケティングアクト・（株）WESCOの他、熊本県企業局にも参加いただきました。

熊本県阿蘇地方を震源とする大規模地震（震度6強）を想定し、熊本県工業用水道に関わる地域に発生しうる被害に対して、構成企業がそれぞれの初動対応について確認するとともに、被害状況の共有など、災害対策本部と構成企業間における円滑な情報共有方法等について確認しました。

今後も熊本県工業用水道への影響を最小化することを最優先とし、構成企業と一体となった災害対応ができるように努めてまいります。



2023年度BCP運用訓練における災害対策本部の様子

3. 工業用水道の施設を紹介します

取水施設

今回は、『取水施設』をご紹介します。

取水施設は、菊池川右岸から取水した水が流入する施設です。取水施設には、降雨等による菊池川の水位変動に応じて取水量を調節する取水ゲート、流入してきた水に含まれる土砂などを沈殿させる沈砂池、導水路の水位測定や濁度測定などを行う設備があり、熊本県、福岡県、大牟田市、荒尾市の4者共同施設となっています。工業用水の安定供給のため、週1回の巡視点検を行っています。

菊池川から取水した水の情報をもとに最初に判断できるのが、取水施設となります。取水施設を通過した水は導水管路～導水ポンプ場を経由して約3～4時間後に上の原浄水場へ到達するため、取水設備における水の情報も、その後の浄水場における浄水管理の判断基準となっています。

取水施設は、浄水場から離れた場所にあるため、監視員は常駐していませんが、浄水場からITVカメラにて監視を行い、工業用水の安定供給に努めています。



（左）
取水ゲートです。菊池川水位や導水路水位に応じて開閉操作を行い、取水量を調整します。



（右）
沈砂池です。菊池川から流れてくる水に含まれる土砂などを沈殿させて除去します。

4. 設備の修復を順次進めています

令和5年度の更新工事内容について

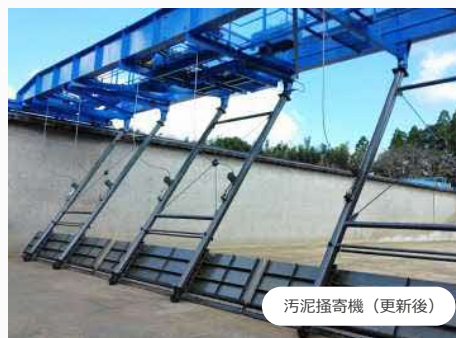
● フロキュレーター更新工事

フロキュレーターは、上の原浄水場に設置されている浄水設備です。菊池川から取水した河川水を緩やかに攪拌することで、大きくて沈みやすいフロック(河川水の濁りや汚れを薬品で凝結した粒子の塊)を形成させる重要な役割があります。経年劣化が進んでいるため、更新を実施しています。



● 金山分水場濁度計更新工事

金山分水場濁度計は、金山分水場上に設置されている計装設備です。有明工業用水道では本濁度計と上の原浄水場に設置されている浄水濁度計による、二重の濁度計測で管理されています。規定水質の配水を監視するための重要な設備であり、経年劣化が進んでいるため、更新工事を実施します。



その他、汚泥掻き機、排泥弁等の更新工事も実施しています。

令和6年度の更新工事内容について

有明工水において、令和6年度に予定している主な更新工事は、以下のとおりです。
ユーザー企業の皆さまへの配水等に影響が無いよう、最大限留意し、実施してまいります。

● 送水ポンプ更新工事

送水ポンプは、浄水処理された工業用水を金山分水場へ送るための設備です。平成26年度に更新していますが、持続的な工業用水の安定供給のため、部分取替等による既存設備を活用した長寿命化を実施します。ポンプ内部の補修塗装、電動機整備、インペラ(羽根)の状態検査や清掃などによる延命化を図ります。



5. 工業用水の水質状況についてお知らせします (ウォーターサークルくまもと(株))

令和5年水質検査結果

ユーザー企業の皆さまに配水している工業用水は、定期的に水質を検査しています。

令和5年(1月~12月)の平均水質は、右表のとおりです。

供給規程上の水質基準(濁度10度以下、水素イオン濃度pH6.0~8.0)を逸脱する日はありませんでした。

このように、浄水場での濁度は低く抑えていますが、皆さまの事業所までの配管内には少しずつ濁り成分が溜まりますので、配管内の急激な流量変化があった場合などに水の濁度が上がることがあります。そのため、毎年お盆時期に洗管作業を行っています。

本年度の洗管作業は、令和5年8月13日に実施いたしました。ユーザー企業ならびに関係者の皆さまのご協力により、1日間で完了することができました。また、作業中のトラブルもなく、水質にも問題はありませんでした。

今後ともご理解とご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

令和5年(1月~12月)の平均水質

項目	測定値
水温(℃)	19.3
濁度(度)	0.65
水素イオン濃度(pH)	7.3
アルカリ度(mg/L)	48.2
硬度(mg/L)	41.5
蒸発残留物(mg/L)	130.4
塩素イオン(mg/L)	10.2
鉄イオン(mg/L)	0.01

※水質の過去の情報は、県HPでご覧いただけます。

熊本県 工業用水



URL: <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/120/51506.html>

6. 工業用水の経営状況についてお知らせします (熊本県企業局)

有明工業用水道の経営状況

1. 業務量 (令和5年12月末現在)

項目	業務量
給水先事業所数	13事業所
給水能力	33,860m ³ /日
契約水量	14,767m ³ /日
基本使用水量	9,248m ³ /日

2. 給水料金 (税抜)

項目	1m ³ 当たり単価
基本料金	50円
特定料金	50円
超過料金	100円

3. 財務状況 (令和4年度決算)

	項目	金額(千円)
貸借対照表	総資産	11,292,720
	(内ダム使用权)	(9,966,181)
	負債	16,398,962
	資本	△5,106,242
	累積欠損金	5,119,805

	項目	金額(千円)
損益計算書	総収入	667,247
	(内料金収入)	(149,304)
	総費用	824,372
	当期損益	△157,125
	減価償却前当期損益	181,383

7. ウォーターサークルくまもと（株）からのお知らせ

X（旧Twitter）について

ウォーターサークルくまもと（株）では、ユーザー企業の皆さまへの情報提供ツールとして、X（旧Twitter）の運用を行っています。

有明工業用水道に関する情報発信を行うほか、災害発生時などの非常時における情報共有にも活用させていただきます。

ユーザー企業の皆さまにおかれましては、ぜひフォローしていただきますよう、よろしくお願いいたします。

ウォーターサークルくまもと（株）（有明地域）のX（旧Twitter）

URL : https://twitter.com/WATERCIRCLE_a



QRコード

8. 熊本県企業局からのお知らせ

按分率について

本県企業局では、令和3年度から有明、八代の両工業用水道事業にコンセッション事業を導入し、運営権者である「ウォーターサークルくまもと株式会社」と20年間の実施契約を締結しています。

コンセッション事業においては、ユーザー企業から収受する工業用水道料金を施設所有者である県企業局と運営権者間で分配することとなり、運営権者が収受する料金の割合を「按分率」とし、有明及び八代の両工業用水事業についてそれぞれ設定しています。

「按分率」は、運営権者による維持管理や更新事業に必要な費用及び料金収入の規模等を踏まえて設定し、物価変動や企業の使用水量の増減等に応じて随時改定を実施しております。現行の率及びこれまでの改定状況については熊本県ホームページ（企業局総務経営課⇒工業用水道）に掲載しています。

URL : <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/120/185520.html>

なお、この「按分率」の改定によりユーザー企業から収受する工業用水道料金に変更されることはないことを申し添えます。

- ご契約に関すること
熊本県企業局総務経営課

☎ 096-333-2597 📠 096-384-9114

✉ ksomukeiei@pref.kumamoto.lg.jp



- 利用料金、水質、配水、施設や工事に関すること
ウォーターサークルくまもと（株）

☎ 096-227-6109 📠 050-1704-3315

✉ info@wck.co.jp

**WATER CIRCLE
KUMAMOTO**

ウォーターサークルくまもと株式会社
くまもとの水を活かし、続ける。地域の明日を支えるために。